



報道関係者各位

2015年11月20日
ハンファQセルズジャパン株式会社

ハンファ Q セルズ 第 3 四半期決算発表

四半期ベース過去最高益を達成

- 第 3 四半期売上 427.2 百万ドル、営業利益 40.3 百万ドルで四半期ベース過去最高益
- 合併による相乗効果と高性能セル・モジュール量産にともなう製造原価低減に成功

ハンファ Q セルズ（CEO：ナム・ソンウ、米ナスダック：HQCL、以下、「Q セルズ」）は、19 日（アメリカ現地時間）、2015 年第 3 四半期決算を発表いたしましたのでお知らせいたします。

2015 年第 3 四半期（7-9 月）、Qセルズの売上高は過去四半期最高の 427.2 百万ドルで、第 2 四半期（4-6 月）比 26.4%となりました。さらに、営業利益は 40.3 百万ドル（営業利益率 9.4%）、当期純利益 52.4 百万ドル（当期純利益率 12.3%）と大きく改善いたしました。

Q セルズは 2011 年から黒字を確保することができずにおりましたが、2015 年 2 月のハンファ Q セルズとハンファソーラーワン合併後の 2015 年第 2 四半期（4-6 月）には営業利益が 1 百万ドルとなり、黒字転換を果たしました。また、第 3 四半期の当期純利益が 52.4 百万ドルを達成したことで 2015 年累積（9 月末現在）の当期純利益が 17.8 百万ドルとなり、合併を通じたシナジー効果を基に業績を反転させ、成長軌道に乗ることができました。

今回の成長要因としては、合併以降、韓国・マレーシア・中国にある生産ラインのフルオートメーション安定化、継続的なプロセス改善や高性能セル・モジュール量産にともなう製造コスト低減が成功したことなどが挙げられます。また、アメリカや日本など先進国市場だけでなく、インドなど新興市場に対する攻勢および、現地の大手ビジネスパートナーとの大規模プロジェクト獲得など、世界全域での様々な活動が本格稼働し始めたことも要因となりました。

ハンファグループの太陽光事業を加速するため行った、ハンファ Q セルズとハンファソーラーワンの 2015 年 2 月の合併は安定した黒字体質を生み出しました。さらに、2016 年第 2 四半期に、セル及びモジュール生産能力を各 5.2GW まで増設する計画であり、今後一層グローバルに攻勢をかけていくことが可能になります。

わたしたちは、自社の成長とともに、どの地域においても優れた製品を生産・販売できる体制を整備することで、世界の太陽光発電市場発展に貢献して参ります。

報道関係お問い合わせ先

ハンファQセルズジャパン株式会社 広報担当：小林
TEL 03-5441-5928 EMAIL info@hqj.co.jp



【ハンファQセルズについて】

ハンファグループ内の太陽光関連企業 2 社が合併され、2015 年 2 月にハンファ Q セルズ (NASDAQ:HQCL)となる。“Engineered in Germany”のブランドコンセプトのもと、ドイツ R&D 本社から、先進的な技術や革新的な研究開発をグローバルに展開するとともに、ハンファグループのネットワークを活かし、欧州、北米、アジア、南米、アフリカ、中東諸国でビジネスを展開している。生産施設はマレーシア、中国、韓国、一部ドイツに保有し、セル生産能力は 3.7GW で世界トップクラス (2015 年 6 月現在)。太陽光セル・モジュール・システムの開発・生産・販売、発電所建設および EPC (設計・調達・建設) 事業など太陽光ビジネスの全ての分野でソリューションを提供している。

URL: <https://www.q-cells.com>

【ハンファQセルズジャパン株式会社について】

1984 年に韓国最大手企業であるハンファグループの日本法人として設立。2014 年 3 月に設立 30 周年を迎えた。太陽光発電関連事業 (太陽光モジュール輸入販売、IPP 事業) をはじめ化学品、鉄工、機械・設備、自動車部品、IT 関連機器等、多分野にわたる基幹産業のアジア諸国間での輸出入業務と日本市場での販売事業を展開している。2011 年より日本の太陽光事業に参入し、日本向け出荷量の累計は 1.7GW (2015 年 7 月現在)、2013 年には外資系太陽光モジュールメーカーとして国内出荷量で 1 位となる。

URL: <http://www.q-cells.jp/>

報道関係お問い合わせ先

ハンファQセルズジャパン株式会社 広報担当：小林

TEL 03-5441-5928 EMAIL info@hqj.co.jp